

ガバナーご挨拶

国際ロータリー第2530地区
ガバナー 泉田 征慶 (浪江 RC)



東日本大震災後 15 年の節目を迎える 2026 年 3 月に、ガバナーを拝命することに、特別な思いを感じます。

福島第一原子力発電所の事故により、相双分区に属するロータリークラブは多大な影響を受けました。特に双葉郡にある浪江 RC および富岡 RC はテリトリー全域に避難指示が出されたこともあり、一時はクラブの存続そのものが危ぶまれる時期もありました。そうした中で、地区内外のロータリアンの皆さまからいただいたご支援のおかげで、現在もロータリー活動が継続できていることに深く感謝を申し上げます。

私が所属する浪江 RC では、避難指示が長期化したことにより、避難先で住宅を求め、現在も生活の拠点がテリトリー内にない状況のメンバーがほとんどです。そのような状態でガバナーを輩出し、地区運営を担うことが果たして可能なのかという疑問がありました。しかし、「いつまでも被災者のままではいけない」という私自身の強い思いに加え、クラブメンバーの団結力、そして相双分区 6 クラブの固い絆があるからこそ、この大役をお引き受けする決意を固めるに至りました。メンバーは県内外に点在しており、運営には困難も伴うと予想されますが、精一杯努力していく所存です。どうか一年間、よろしくお願い申し上げます。

アメリカには「チャリティーナビゲーター」という組織があります。この組織は、2001 年に設立された慈善団体の活動内容や財政状態を評価するアメリカ最大の第三者機関です。ロータリークラブはこの団体から、16 年連続で最高評価である四つ星を受けており、23 万を超える評価対象団体のうち上位 1%に入る、極めて優れた実績を持つ組織です。この評価は、我々 1 クラブのひとつひとつが積み重ねてきた活動の成果であり、各クラブの創設以来、先輩方が築いてこられた努力の賜物です。その精神を永年に渡り引き継ぐために、より充実したロータリー活動を続けていかねばなりません。

現在、世界のロータリアンの数は約 116 万人といわれています。一時は 120 万人を超えていましたが、近年は微減傾向が続いています。特に新興国での会員減少は著しく、日本も例外ではありません。我々の 2530 地区においても同様であり、最も会員数が多かった 1996 年度の 3203 人に対し、2024 年度のスタート時点では 2126 人と、実に 1077 人の減少となっています。今後も充実した奉仕活動を継続していくためには、会員増強が最大の課題であることは言うまでもありません。

ロータリークラブは「回転ドア」に例えられることがあります。入会者が多い一方で、退会者も多いという例えです。退会者数の抑制もまた重要な課題となります。退会者の中には、ロータリーがどのような活動をしているかを十分に理解しないまま辞めてしまう人もいると思います。現会員においても同様に、他クラブや地区、国際ロータリーの活動が見えていないという状況があるのではないのでしょうか。対外的な広報に加えて、対内的にも情報を積極的に共有し、我々の活動が地域社会に必要とされていることを実感できるよう、ロータリアンであることを誇りに思えるような広報活動を推進したいと考えております。

また、ガバナー補佐と緊密に連携しながらクラブへの支援体制を強化し、例会や奉仕活動がさらに充実したものとなるよう努めてまいります。地区とクラブが連携して、素晴らしいロータリー活動が実現できるよう「よいことのために、手を取り合いましょ

*****プロフィール*****

■氏名 泉田 征慶 (いずみだ ゆきたか)
■生年月日 1966年12月23日
■所属クラブ 浪江ロータリークラブ
■職業分類 土木建設業
■事業所名 株式会社 泉田組
〒979-1521 双葉郡浪江町大字権現堂字上蔵役目 17-1

■役職 代表取締役
■最終学歴 1989年3月 日本大学工学部建築学科 卒業
■職歴 1989年-1994年 庄司建設工業(株)
1994年 (株)泉田組入社
2013年 (株)泉田組 代表取締役
一級建築士

■現職 福島県建設業協会 理事 双葉支部 支部長
浪江町復興事業協同組合 副理事長

■ロータリー歴 2008年7月 浪江ロータリークラブ入会
2016-17年度 浪江ロータリークラブ幹事
2017-18年度 地区職業奉仕委員会 委員
2018-19年度 浪江ロータリークラブ会長
2019-20年度 地区職業奉仕委員会 委員
2020-21年度 地区米山記念奨学会委員会 委員
2021-22年度 地区米山記念奨学会委員会 委員
2022-23年度 地区米山記念奨学会推進委員長
2023-24年度 ガバナーノミニー
相双分区ガバナー補佐
2024-25年度 ガバナーエレクト

メジャードナー レベル1
第4回米山功労者 (マルチプル)



2025—26 年度 地区運営方針

- ◆ロータリーの理解を深める活動
- ◆公共イメージの向上
- ◆充実した例会実施のための支援

各委員会事業目標

RLI 委員会

- ・RLI 研修への積極的な参加を促す
- ・ファンリテーターの募集、育成
- ・地区セミナーの支援

会員増強・DEI 委員会

- ・新会員純増 8% を目指す
- ・女性会員ゼロクラブ 15%→0% を目指す
- ・女性会員率 10% を目指す
(現在 9.2% 純増 18 人)
- ・会員増強セミナーの実施
- ・新会員セミナーの実施
- ・DEI 委員会は退会防止を重点に活動する
- ・充実した例会プログラム例の作成

公共イメージ・IT 委員会

- ・ロータリーが実施している活動の広報
(対内・対外)
- ・対内的には退会防止に、対外的には入会につながるような広報
- ・広報用ホームページの充実
(地区だけではなく、クラブ情報も掲載)
- ・ホームページのアクセス数向上の検討・実施
- ・「参加者の基盤を広げる」ための広報活動
- ・オンライン会議のサポート

職業奉仕委員会

- ・わかりやすい職業奉仕
- ・ロータリーの職業奉仕の理解を深めるセミナーの開催

社会奉仕委員会

- ・「より大きなインパクトをもたらす」事業、「参加者の積極的なかわりを促す」事業の活動立案のための研修と支援
- ・クラブの奉仕活動の情報収集
- ・公共イメージ委員会との連携

国際奉仕委員会

- ・グローバル補助金など、海外 RC との橋渡し
- ・「より大きなインパクトをもたらす」ための支援先情報の収集と精査
- ・支援事業の評価
- ・公共イメージ委員会との連携

青少年奉仕委員会

- ・公共イメージ委員会との連携

インターアクト委員会

- ・インターアクトクラブ活動の支援と指導
- ・ロータリークラブ、ローターアクトクラブとの連携強化
- ・第 13 回全国インターアクト研究会・福島会議開催の準備・設営
- ・学友委員会との連携・協力

RYLA 委員会

- ・RYLA 開催
 - ・参加者募集方法の検討
 - ・学友委員会との連携・協力
- #### 青少年交換委員会
- ・青少年交換事業の実施
 - ・実施事業の報告会、報告方法の検討
 - ・学友委員会との連携・協力

ローターアクト委員会

- ・ローターアクト向けの研修
- ・基盤強化のための活動
- ・スポンサークラブとのグローバル補助金事業の立案
- ・ロータリークラブ、インターアクトクラブとの連携強化
- ・学友委員会との連携・協力

学友委員会

- ・学友会設立の可否検討
- ・所属して利益になる学友会の検討
- ・学友ナイトの実施

ロータリー財団委員会

- ・「より大きなインパクトをもたらす」事業の奨励、指導
- ・ポリオについての理解を深める
- ・公共イメージ委員会との連携
- ・ポールハリス・ソサエティ会員 100 名を目指す
- ・ポリオプラス・ソサエティ会員 100 名を目指す
- ・ベネファクター各クラブ 1 名を目指す
- ・学友委員会との連携協力
- ・ロータリーカードの推奨
- ・ファンドレイジング目標
年次基金 \$ 150/人
ポリオプラス基金 \$ 30/人
寄付ゼロクラブゼロ

米山記念奨学会委員会

- ・奨学生受入れ未経験クラブへの受入支援
- ・学友委員会との連携協力
- ・寄付目標
普通寄付金 15,000 円/人
特別寄付金 10,000 円/人
寄付ゼロクラブゼロ